

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和3年度第2回上尾市子ども・子育て会議
- 2 会議日時 令和3年11月16日(火)
午後1時30分から午後3時
- 3 開催場所 上尾市役所議会棟4階 全員協議会室
- 4 会議の議題 ①上尾市子どもの貧困対策計画(案)の経過報告
について
②その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 ——
- 7 傍聴者数 1名
- 8 問い合わせ先 上尾市子ども未来部子ども支援課
(担当課)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第2回上尾市子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和3年11月16日(火) 午後1時30分から午後3時	
開 催 場 所	上尾市役所議会棟4階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	田澤薫	
出席者(委員)氏名	新藤孝子、戸野部直乃、田村智子、関根貴生、入野麻希、菊池恭長 外石馨、桑原明子、長いづみ、鈴木玲子、矢部みどり、石井英次、 河田千栄、西川達男、小林斗志子	
欠席者(委員)氏名	吉田雄二、田中元三郎	
事務局(庶務担当)	<p>【子ども未来部】 部長 岡野孝史、次長 正木由紀子</p> <p>【子ども支援課】 課長 内田雅幸、主幹 島田真樹、主査 齋藤正芳 主任 古藤舞、主事 金田遼</p> <p>【保育課】 課長 藤波伴安、主幹 鈴木正則</p> <p>【青少年課】 課長 加藤孝志 主幹 小川博史、主事 小泉翔太郎</p> <p>【子ども家庭総合支援センター】 所長 堀口めぐみ、副主幹 河見眞里子</p> <p>【健康福祉部健康増進課】 課長 樋浦雅紀、副主幹 半田敦子</p> <p>【学校教育部】 次長 関孝夫</p>	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	① 上尾市子どもの貧困対策計画(案)の経過報告について ② その他	① 承認 ② 承認
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1名

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>令和3年度第2回上尾市子ども・子育て会議</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 議題</p> <p style="padding-left: 40px;">① 子どもの貧困対策計画（案）について （資料1） 事務局より説明</p>
会長	<p>それでは、今事務局から説明があったものと、事前に配布されている資料1の中で、何か質問や意見がありましたら承りたと思います。何かご不明の点や意見を申し述べる前に確認しておきたい点ございましたらお願いいたします。</p> <p style="padding-left: 40px;">よろしいでしょうか。</p>
小林委員	はい。
会長	お願いいたします。
小林委員	<p>原市南小学校校長の小林でございます。1点質問をさせていただきたいと思っております。資料1の46ページ、上の部分になります。表には指標、現状、目標、担当と順番に書かれてあるかと思うのですが、それぞれの数値や言葉の意味が分かりにくかったです。</p> <p>例えば、幼保小連絡協議会の開催校数についてですが、現状の数値が22校で、令和6年度目標は22校と記載されています。現在市内の小学校数が22校なので、傍から見たら目標は達成しているものだと捉えることができます。現状の段階で目標としている数字を指標とする事はいかかなものかということと、どの様な趣旨で各指標を選択し、計画書に載せていらっしゃるのか分かりにくかったので、ご説明いただければと思います。</p>
会長	ありがとうございます。事務局お願いいたします。
事務局	<p>はい、ご説明させていただきます。</p> <p>幼保小連絡協議会の開催校数の現状と目標についてですが、現状継続という形で指標とさせていただきました。市内の小学校は22校あり、全22校で幼稚園や保育園、保育所と連携して情報共有をしている。協議会を開催しているということ聞いております。</p> <p>この事業については、継続して今の活動を続けていただきたいということで、この目標値を設定させていただいております。</p> <p>小中連携連絡会議の開催校数についても同じように考えさせていただいております。現状の協議会を継続して続けていただくということを目指し、この数値を出させていただいております。</p>

小林委員	<p>ありがとうございました。現状維持という理解でよろしいでしょうか。指標という言い方をされると、3年後に向けて何かを頑張るという様なイメージでした。</p> <p>なので、ここの教育の部分については、大きな目標みたいなのはあまりないという感じでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、すいません。</p> <p>大きな目標がないといえますか、協議会の実施校数を維持しながらも、中身を充実させていけたらという様には考えております。全小学校で協議会を開催して、小学校幼稚園、保育所で連携していただく。小学校中学校で連携をしていただいて、子どもたちがそれぞれの段階に上がるにつまづきがないように支えていただければというところで、これを指標に挙げさせていただきました。以上です。</p>
会長	<p>はい。書き方に少し工夫があった方が、わかりやすいのかなというご指摘という様に思います。</p>
小林委員	<p>分かりました。ご説明いただいた上での意見となりますが、行っている事業が現状維持の形であれば現状維持という評価になり、現状維持から一歩でも進んだのであれば、発展という評価になるのではないかと私は思いました。</p>
会長	<p>質問から重ねてご意見までありがとうございました。他に何か意見や質問はございますか。</p>
入野委員	<p>はい。</p> <p>市立保育所保護者会連合会の入野です。</p> <p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>2点意見及び質問があります。</p> <p>1つ目の質問は、小林委員の質問とも少し関連しているのかもしれませんが、それぞれの柱の指標と目標設定について質問です。</p> <p>まず意見となりますが、初見の人がそれぞれの柱の指標と目標設定の表を見たときに、既に支援ができています。目標は達成できている。という形に読み取れる表が多く見えました。</p> <p>私が見ていたのは、資料1の51ページに書かれている就労の支援の部分と52ページに書かれている保育関係の部分です。保育関係では一時預かり保育所の設置数については、現状は16ヶ所で、目標が16ヶ所と書かれています。病児病後児保育を行っている保育所数に関しては 現状が4ヶ所、目標が4ヶ所と書かれています。現状で目標値に達しているものが目標に書かれていても、目標を立てても何も変わらないのだなという様に捉えられてしまうと思います。目標を設定するのにあたり、設定の方法は良いのかという部分が疑問でした。</p> <p>2つ目の質問になります。全体を通して様々な事業を書いていると思うのですが、これらは全て既存の事業という理解でよろしいのでしょうか。</p> <p>私見ではありますが、この貧困対策を上尾市において強化していく。と</p>

	<p>いう趣旨でまとめられていることは素晴らしい事だと思うのですが、この事業のリストを見ていた中で、どの部分が既存のもので、どの部分が新しく行うものなのか。という点が少し見分けにくかったので、そこをお伺いできればと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。 お答えさせていただきます。 実際に多くの取り組みを上尾市でもさせていただいておりますので、既存の事業が多くなっているのは確かでございます。 その中でも、ヤングケアラー調査の実施や子ども食堂の数を増やしていくことについて、福祉総合窓口の設置については新しい事業として入れさせていただきますいております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 他に何か質問ありますか。</p>
外石委員	<p>はい。</p>
会長	<p>お願いいたします。</p>
外石委員	<p>外石です。 質問と意見が重複しているのかもしれませんが、2点です。個人的な考えとなりますが、3ヶ年計画の最終的な目標は、貧困の子どもたちをサポートするところだと思います 1点目の質問になります。アンケートについてですが、中間報告や途中での見直しをされるのですか。 2点目の質問になります。計画実施の3年間において、もう1回アンケートを行うということはあるのか教えてください。意見となりますが、現在、子どもたちへのアンケートを行っていますが、計画を進めていく中で、例えば1年半後とか1年後とかに、受ける方の子どもたちの方の反応はどうなっているかの調査をされる予定があるのであれば、どの時期で調査を行うのかお知らせいただければ助かります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。 先ほども、冒頭で説明させていただきましたが、令和7年度に子ども子育て支援事業計画の第3期計画を考えております。第3期の計画を立てる際に、事前調査等を検討させていただければという様には思っております。 以上です。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
外石委員	<p>ありがとうございます。3年間の中で、この様な現況の活動も含めて行</p>

っていくということは素晴らしいことだと思います。

計画途中での調整については、私自身の経験を含めての話となりますが、3ヶ年計画を当初に立てても、進捗状況を鑑みて1年ごとに計画を見直すことも行っているものですから、子ども・子育て会議の方に移行することはとても良いと思います。

先ほどのお話では、計画開始の2年後や1年半後に途中までのところを見て、今考えてきた施策が途中でどうだったのか判断や審査をするという事でした。

実際にアンケートを受ける保護者であったり、ご家庭だったり、子どもたちの考えを年単位で見ると、変化が出たり出なかったりする部分もあると思います。

もし、計画実施途中でアンケートを取ってみたら、実際はどのような傾向が見られるのかなと気になりました。

アンケートをする為の予算も別途で必要になりますが、次回の計画を作る際は、その様な事もお考えかなと思いました。

会長

はい。
事務局お願いいたします。

事務局

はい。
ご意見ありがとうございます。
先ほどの回答と同じ様な回答となりますが、新しい子ども子育て支援事業計画を今後作っていくこととなりますので、今のところは前段階として、ご質問いただいた様なアンケート調査も、計画を策定していく中で必要か否かも含めて検討させていただきたいと思います。
貴重な意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

外石委員

ありがとうございます。

事務局

他に何か質問ありますか。

戸野部委員

様々ご説明等ありがとうございました。市議会議員の戸野部です。2点意見があります。1点目は、先ほどご説明の中にも最後の方にありました、有識者の方の意見を反映させたらどうだということについてです。

以前に市議会の方でも意見を出させていただきましたが、若原准教授にご意見を求めていただいたということで大変良かったと思います。意見に加えて、先生から様々なご指摘があったということで説明いただき、私も本当にこれを拝見させていただく中で、これからは学校が貧困対策のプラットフォームになっていく位置づけであることなど、学校が中心。主体になっていくのかなという様に受けとめました。

しかし、その割には、先ほど小林委員からのご指摘もあったように、学校の指標に曖昧な部分が多いのが少し残念というか、気になるころだなという様に感じました。

2点目になります。若原先生がご指摘いただいたものが、今回の現行計画に大きく問題はないという様なお話ではありましたが、大事な指摘がたくさん出たと思うのですが、そのご指摘に対しては、今回の推進計画には今後盛り込まれていかないのかどうかということをお話いただければ

	と思います。
会長	ありがとうございます。 事務局お願いいたします。
事務局	はい。 できる限り、今回の計画に反映させていきたいという様に考えております。 また、現在調整中の部分もございますが、できる限りは行っていくつもりでおります。以上です。
戸野部委員	はい、ありがとうございます。もちろん専門家ですので、本当におっしゃる通りという様な部分がたくさんございました。計画を短期間で作るのも厳しいと思いますが、ぜひ反映の方お願いいたします。
会長	ありがとうございます。 他に何か質問ありますか。
小林委員	はい。
会長	お願いいたします。
小林委員	原市南小学校の小林でございます。 大学の先生の最後のお話にもありましたように、まずは市町村でこのような会を立ち上げて動き始めるということが、とても大切だという様なお話があったかと思うのですが、その様な意味では、教育に携わる者として本当にありがたい支援策なのかなと思っております。3点意見を述べさせていただきます。 まず1点目ですが、本日配付していただきました策定のスケジュールについてです。 パブリックコメントの期間が、年末年始を挟んで5週間ありますけれども、市民の皆様からのご意見を広く吸い上げた方がよろしいのかなと思っておりますので、是非周知の方法や、募集期間のこととか等をご検討いただいて、多くの方が意見を述べる場があるといいのかなと思いました。 2点目になります。 2点目は、資料1の43ページについてです。 43ページの1、目指すべき姿のところの第三段落2行目に書かれている貧困の原因という部分です。 家庭の教育力や養育力、社会的孤立という様な背景とともに、子どもたちは生活習慣の乱れ、不健康、不衛生、低学力、いじめ、非行虐待などという様な文言が書いてあるのですが、今学校現場の中で非常に感じているのは、ヤングケアラーについてです。 今年度から、埼玉県でも11月をヤングケアラー防止月間にするという話がありました。今年度からの取り組みですので、ぜひこの計画にヤングケアラーという文言を入れていただきたいなと思いました。 3点目になります。 3点目は資料1の56ページについてです。

	<p>包括的な支援という部分で、子ども達の貧困問題について様々な事がその他の部分に書いてあると思います。</p> <p>子ども達は、自分が貧困だから助けて。という言葉が周囲に言えなかったり、助けを求めたりすることができない子が多いです。</p> <p>読ませていただいている本当に充実した支援が多いのですが、トップダウンといいたいでしょうか、大人から来てくれたらどんな事でもやるよという様なイメージで、子供から声を上げられない。子どもの声を吸い上げる方策というところがあるとよろしいのかな。ということをおもいました。やはり、子ども達は色々な人と関わったり周囲と比べたりする中で、自分が貧困状態なのかそうではないのか、貧困について何か気づきが出るのか出来ないのかというと、気づくことは中々難しいかなと思いますので、ぜひこういった相談の場に来られない家庭への支援策ということも、この5番目の包括的な支援の中に入れていただいで、探し出して次に繋ぐ様な支援策等があるとよろしいのかなと思いました。以上3点です。</p>
事務局	ありがとうございました。
会長	貴重な意見だと思います。事務局よろしくお願いいいたします。他にご意見ございませんでしょうか。
新藤委員	はい。
事務局	よろしくお願いいいたします。
新藤委員	<p>市議員の新藤です。お世話になります。2点意見と質問があります。</p> <p>1点目は、資料1の48ページについての質問です。まだ数値や割合が入っていない部分もありますが、これから数値を入れて、市民コメントにかけるのだとは思いますが、ここの部分が実際入っていないのはどう理由があるのか教えてください</p> <p>2点目は、資料1の46ページ1番、教育の支援についての意見と質問です。まず意見ですが、現状は日本語指導員数が17人と書かれてあるのですが、6年後の目標でも、17人という形になっています。この数字が、どの様な意味を表すのかというのが、アンケート等でもご承知なのだと思いますが、目標についても、もう少し具体的に考えていただければなと思います。</p> <p>次に質問です。日本語指導員数が不足しているというのは前にも何度か話を聞いているので、現状が17なのに、目標も17という形で良いのかなと少し疑問に思いました。なので、もしこの目標値を出した理由があれば、教えていただきたいと思ひます。</p>
会長	事務局お願ひします。
事務局	<p>はい。</p> <p>学校教育部の次長の関と申します。</p> <p>今のお話について、順番に回答いたします。</p> <p>1つ目の質問は、食育とスクールソーシャルワーカーの対応による改善率の数値が空欄であるということで、お間違いないでしょうか。</p>

まず初めに、食育の推進は、朝ごはんを必ず食べてくる児童生徒の割合についてで、小学校が 93.3%で、中学校が 89.9%です。この数字は、令和 2 年度の数字ですが、現段階で最新ということになります。

ところが、この数値はやや高止まり気味で、この後もう少し低い数字が出てくる可能性があります。目標値をどの様に設定するのかということについては、少し指導課で検討します。

この部分は聖学院の先生にご指摘されまして、新たに加えられた指標となりますので、今検討させていただいているという状況です。

次に、スクールソーシャルワーカーの対応による改善率についてですが、現状は 97.5%となっています。正直な話を申し上げますと、継続して対応している案件が 1 件ありますので、97.5%となっています。しかし、目標は目標ですから、最終的には 100%となってくると思い、考えております。これについては、教育委員会の関係課と事務局の方で確認している状況です。

2 つ目の質問でいただいた、日本語指導員の現状と目標の人数がどちらも 17 人な点について、もう少し考えた方が良いだろうと意見も頂戴いただきましたが、先ほど説明がありましたように、日本語指導が必要な子どもの数が何人いるのかというのは推移があります。

実際の話となりますが、感染症の影響もあり、外国から来る皆さんも減っている状況もあります。

しかし、入国人数が減っている中でも日本語指導が必要な子どもの需要が増えていたりしている部分もあったりするので、目標が 17 人というのはおかしいだろうということで、この部分については現在検討をしているところです。

すいません。まだ確実な数字が入ってない状況ですが、その様なことでご理解いただければと思います。ありがとうございます。

会長

ありがとうございます。
他にご意見ございませんでしょうか。

鈴木委員

はい。

会長

どうぞ。

鈴木委員

1 点質問があります。
資料 1 の 56 ページに、新たな取り組みとして、福祉の総合窓口の設置と書かれていますが、どんなイメージになるのか教えてください。

会長

事務局お願いいたします。

事務局

はい。
こちらの事業は、健康福祉部の方で行う予定となっていますが、現在検討している内容となります。現在は、生活困窮、高齢、障害、児童と担当課が事業ごとに分かれているところですが、様々な需要を一つのところで引き受けられるような場所ができないかという様なことで検討している最中だということをございます。まだ具体的な姿が見えない状況ですが、イメージとしては、1ヶ所に行けばいろいろな相談ができる。という

	<p>様な感じでしょうか。すいません。まだまだ検討中でございます。 以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。 他にご意見はいかがでございますでしょうか。</p>
<p>入野委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>入野委員</p>	<p>保育所の保護者会連合会の入野です。先ほどご質問させていただいたところと絡むのですけれども、これはお願いになるのかと思いましたが、4点意見があります。</p> <p>1点目は、指標の書き方についてです。各柱の中で生活の支援や経済的支援などの指標を設定されていると思いますが、何も知らない状態の市民がこの表を見たときに、上尾市が各分野の中で注力している事業はこの事業なのだなという様に見てとれると思います。</p> <p>目指す姿もあると思いますが、現状の課題と解決のための目標を適切に入れ込んでいるのかということも一度ご検討いただければなと思いました。</p> <p>2点目は、指標の選び方についてです。皆様からもご指摘ありましたが、既に100%になっているものが目標として載っているということに違和感がありました。指標を考えるうえで無いとは思いますが、事業として行いやすいものを載せてしまっていないだろうかという部分が少し気になりました。これは、例えば指標には載っていないけれども、子供の貧困対策を考えるうえで必要とされているものが抜け落ちてないだろうかというところを、もう一度ご確認いただけるといいのかなと思いました。</p> <p>長くなりますが、資料1の41ページの課題2で、必要とする人が支援に繋がるための情報提供と連携の強化。というところが課題である。と、アンケートの結果からも出てきたということですが、事業の周知。という行為を目標や指標に設定するのは難しいのかもしれないですが、周知が行き届いていない事。を、どの様に課題として受け、浮き彫りになった課題をどの様に解決できたのか。また、計画が始まって見直しをする際に、分かりやすいように何かしらの指標や目標をおかれると良いと思いました。</p> <p>3点目は、目標値の捉え方についてです。資料を部分的にしか見ていないのですが、例えば資料1の53ページ、経済的支援の項目にある、義務教育就学援助事業の周知について、現状が100%で目標も100%ということは、この制度は周知が既に行き届いていて、抜け落ちていないところはない。という様に見てとれます。しかし、支援制度の存在が分からず、支援の申し込みが出来ていないという方がいらっしゃるという様な課題もあるので、どこか矛盾を感じました。課題と指標がどういうふうに関連しているのかというのがわかりやすいように、書いていただければと思います。</p> <p>4点目は、行いやすいものではなくて、この様にしていきたい。という様な、行政の意思みたいなもの。が見えるようになると、よりはっきり市民が分かりやすいものになり、この計画が、より評価されていくのではな</p>

	<p>いかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。貴重なご意見を事務局でもお返事くださいますか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>お願いします。</p>
事務局	<p>子ども未来部長の岡野でございます。</p> <p>皆さんよりいろいろご意見ご質問いただいておりますが、たくさんのご意見ご質問本当にありがとうございます。</p> <p>先ほど入野さんから、病児保育と一時保育についてご指摘を頂戴いたしました。まさにご指摘の通りです。申し訳ございません。</p> <p>こちらにつきましては、最初に詳しく説明しなかったのですが、資料1の6ページに、この計画の今後のあり方についての図表があります。</p> <p>今回の計画は、3年間での策定とさせていただきます。この後、令和7年度から始まる第三期の子ども子育て支援事業計画に繋げていくというところを見ると、作り方が少し変則的です。なので、先ほど一時保育と病児保育の指標についてご意見を頂戴いたしました。こちらは、令和2年度から始まった第二期子ども子育て支援事業計画で、既に位置付けられている数字なので、ここを変えてしまうと、計画全体の数字が揃わなくなってしまいます。</p> <p>これが足りているということではなく、この他にも第2期子ども子育て事業計画で合わせたものが指標の目標の関係の中で何点かあります。これなぜかという、事業がかぶっているからです。</p> <p>その辺りが少し分かりづらかったのも、きちんとご説明させていただければ良かったかなと思っております。</p> <p>また、新しい事業につきましても、少し見えづらいというのは、確かにご指摘の通りでございますので、その点につきましては、またもう一度持ち帰らせていただきます。</p> <p>現状が100で、目標も100という部分につきましては、伸ばさないのではなく、100から絶対に減らさないよ。という意味での目標値でございます。</p> <p>この3年間についてはですね、その後第三期計画で、当然これを拡充していくというところも踏まえていながら、総合的に計画をしていきたいというのが今の事務局の考え方となっております。それを踏まえて、少し分かりにくい作りになってしまったことをお詫び申し上げますが、ご理解いただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました理解が深まりました。</p> <p>他にいかがでございましょうか。</p>
戸野部委員	<p>はい。</p>
会長	<p>どうぞ。</p>

戸野部委員	<p>1点意見があります。</p> <p>入野さんのご質問と、岡野部長のお答えで様々な事が分かったなというところなのですが、そもそも目標値の設定については前に作ったものがあるからという範囲の中でということと理解しましたが、この現状の捉え方というのがまた違っているのではないのかな。というのを今のお話を聞いて思いました。</p> <p>例えば、先ほど入野さんがご指摘した、義務教育就学援助事業の周知というところで、情報を提供している方は、手紙などで100%通知しています。という様なことで、達成率も100%なのかなと推察するのですが、受け手側が、全員がその通知を見ているかと言ったら、きっとそうではないという。</p> <p>そういった想像のもとで、ここの現状というのは、今後この他の全てのものに対しても立てていく必要があるのではないかなという様に感じたところです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほども中間調査の話が出た時にも、受け手の側からの確認ということの意見かと思いますので、よろしくご検討お願いいたします。</p> <p>他のご意見お願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>1つ意見を伝えさせていただきます。</p> <p>子どもたちが声を上げられるという様になるのがとても大切だという話もありましたけど、そのためには包括的性教育という方法もあるなと思いました。嫌なことをされた時には、NOと言えることを行っていくことが貧困の問題に関わっても、とても大事なのではと思いました。意見です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
桑原委員	<p>はい。</p>
会長	<p>どうぞ。</p>
桑原委員	<p>あげお学童クラブの会の桑原と申します。お時間無い中ですが、私も1点意見があります。福祉の総合窓口の設置を計画しているというところがとても良いなと思いました。</p> <p>現在未設置なので、まずは総合窓口を設置することが目標というところだと思うのですが、気軽に相談できる総合窓口設置の後には、関係機関が連携を取って話し合いができる場というのを、次の目標のところにぜひ挙げていただいです。</p> <p>私の前職の話となりますが、高齢者、障害がある方、お子さん育てている方が一緒に住む家庭で、総括的に問題が発生している家庭というのを何軒も見てきました。本当はチームでケアをしていかなければいけないと思いますが、どうしてもそれぞれの課が違うので、一緒に話し合いをしたいと言っても中々話し合いに発展しないという事例を見てきました。</p> <p>なので、窓口設置後の段階として、話し合いの場を設けて、みんなでケ</p>

	<p>アしていくというところを観点に見ていただきたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 そろそろ時間でございますが、他にありますでしょうか。</p>
新藤委員	<p>はい。</p>
会長	<p>お願いいたします。</p>
新藤委員	<p>1点意見があります。 資料1の39ページの最後の文章の部分についてです。これからの課題だということで、市以外のネットワークとは連携していますが、市行政との連携がない。という声や、双方向の監査関係性、守秘義務のある者同士の連携強化を求める声もありますというところが、すごく大事なかなという感じられました。 どの様なところで、これが生かされていくのかというのを是非考慮していただいて、この計画を進めていただければと思います。</p>
会長	<p>はい。 ありがとうございました。 司会の独断ですが、今回の計画の施策の柱を拝見いたしました時に、これらの関連する行政機関のご意見は伺わなければと思っておりました。先ほど校長会の小林委員からはご意見を頂戴いたしましたので、恐縮ですけれども、児童相談所からの見解を西川委員より一言いただけたらと思います。</p>
西川委員	<p>貧困に関しては、虐待等にも結びついてきます。計画案の中でも要保護児童対策協議会のことに関しても触れられていますので、そういう中で虐待も含めて子どもに関する問題について対応できればと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 大変限られた時間でしたが、それぞれの委員から意見をお出しいただきまして、意見のやりとりをしていく中でも理解が深まったかと思えます。 先ほど事務局からのご説明がございました通り、この後に市民コメントの機会もございますので、ぜひそちらでもご意見をいただけたらと思います。 事務局の方から補足説明などはございますか。</p>
事務局	<p>はい。 今皆様からいただきましたご意見ですが、一覧表にまとめさせていただいて、事務局がどのように計画へ反映させていくかですとか、どの様な考えがあるか、後ほど皆様にお返しをさせていただくという様に考えております。時期としてはパブリックコメントを出す頃になるかと思えます。 少しお時間をいただくようになりますが、この後、パブリックコメントを出す前にも、所管事務調査でも意見をいただきますので、そちらの意見も確認させていただいた後に、パブリックコメントを出す段階で皆様に</p>

	<p>は、メール等で一旦ご案内をさせていただいた後、ホームページ等で情報を掲載させていただくような形になってくるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題について承認を取らなくてはいけないですので、全ての意見をいただいた後で承認とします。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	<p>それでは、意見が全て出そろったと判断させていただきまして、今の議題1について、委員の皆様よりご承認いただいたという様に判断させていただきます。</p> <p>(議題1 承認)</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、何かございますか。</p>
事務局	<p>② その他</p> <p>はい。</p> <p>次回の会議ですが、第3回の会議は令和4年の2月の月上旬頃を予定しております。</p> <p>まだ詳しい日程は出せておりませんが、日程が決まりましたら、皆様の方にご連絡させていただきたいと思っておりますので、皆様ご出席の方よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>事務局ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして本日の議事を終了させていただきたいと思っております。</p> <p>皆様本当にご協力ありがとうございます。</p> <p>それでは進行を事務局にお戻しいたします。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(3) 閉会</p> <p>皆様本日はお疲れ様でした。以上をもちまして令和3年度第2回子ども上尾市子ども・子育て会議を閉会いたしますありがとうございました。</p>